

八雲町立山越小学校
学校だより
まごころ

至誠

重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第3号 令和4年5月31日発行



みんなを明るく、元気に

教頭 伊多波 渉



5月、ゴールデンウィークが明けたころから、やっと暖かくなってきました。夜明けの早さと校舎周辺の緑を燦燦と照らす陽ざしが、何か心を明るくしてくれる今日この頃です。

新学期がスタートして2か月が経ちました。まだまだ制約の多い学校生活ではありますが、子供たちの明るく元気な姿に救われる思いの毎日です。毎日支えてくださっているご家庭の御理解・御協力があったのことに心より感謝しております。

さて、6つの重点目標の一つである「挨拶と返事のできる子」について、5月の全校集会で話した内容を紹介したいと思います。

挨拶には、周りの人を元気づけたり、明るくしたりする目には見えない無形の力があり、自分たちが当たり前のようにしている挨拶によって、周りの人たちはいつも力をもらっているのだという話をしました。

そして、挨拶をするときに心がけてほしいことを、右図のようにキャッチフレーズにして伝えました。どれも当たり前で簡単なように思いますが、できていない実態があります。自分は挨拶がしっかりとできているかなと、各々が振り返るよい機会になったことと思います。

後日、校長先生の代わりに登校指導に向かうと、私よりも先に「おはようございます」と元気よく挨拶してくれる子がいました。また、下校指導をしている際、道路の補修工事をしている業者さんに「こんにちは」と自分から挨拶する子を見かけました。業者さんは一瞬笑みを浮かべていました。そんな素敵な子供たちの姿を見ていると、本当に心が温かくなります。

まだまだ全校児童ができていないわけではありませんが、褒めたり、励ましたりしながら挨拶と返事の定着を図っていきます。ご家庭でも、日常的にかわす挨拶について見つめ直してみるのもよいかもしれませんね。

明日から6月です。6月は、子供たちの歩行中の事故や自転車乗車中の事故が多いという統計結果があります。学校でも日常的に指導していますが、ご家庭でも子供たちがでかける際に十分注意するよう声かけをお願いいたします。

あ・・・明るく、元気に
い・・・いつでも、どこでも
さ・・・先に
つ・・・続ける

6月行事予定

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1日(水) 5時間授業 | 15日(水) 5時間授業 移動図書 |
| 2日(木) 全校集会 | 17日(金) なかよし学習 |
| 3日(金) 児童会 | クラブ |
| 6日(月) 歯みがき指導(5・6年) | 22日(水) 5時間授業 |
| 7日(火) CS 田植え体験 | 27日(月) 食に関する指導 |
| 8日(水) 運動会総練習 | 28日(火) CS クリーン作戦 |
| 12日(日) 大運動会 | 30日(木) 歯科検診 |
| 13日(月) 振替休業日 | |

合同学習（4年）と手洗い指導（1・4年）

5月19日（木）に東野小学校・野田生小学校・山越小学校の3校の4年生が、遠隔授業交流をしました。これまでついで八雲で一緒に見学をしたり、遠隔授業で自己紹介をしたりなど、交流を続けてきました。去年の遠隔授業交流では、「自己紹介をしてお互いのことを知る」ことが主なねらいでしたが、今回は自己紹介だけでなくお互いに質問や感想を伝え合ったりして交流を深めることがねらいでした。交流する際には、カメラを意識して顔を上げながら伝えたり、質問をしたりしながら相手のことをたくさん知ろうとしていました。交流終了後の子供たちの「しっかり発表できた。」「たくさん質問できた。」「友達のこと知れて楽しかった。」と大喜びしている姿から、充実した時間となったようです。今後も交流を続けていきます。

5月23日（月）、養護教諭の山田先生の手洗い指導が行われました。「手洗いの大切さ」や「正しい手洗いの仕方」などたくさんのお話を教えてもらい、実際にどれだけ手をきれいに洗えているか、特殊なクリームを手につけて手を洗いました。その後光を当ててみると、洗い残しが白く光ります。丁寧に洗っているつもりでも、白い部分がたくさんあってびっくりしていました。1年生は、自分の洗い方を見直し、洗い残しをなくするための手の洗い方を何度も練習していました。「先生、手がきれいになったよ。」「上手になったよ。」と、笑顔で教えてくれました。授業から日数がたっても、手を洗う時には洗い残しがないように丁寧に手を洗う姿が見られます。今後も正しく手を洗えるよう指導を続けていきます。



学びを深めるために（5・6年）

5月16日～20日の5日間、野田生小学校と国語と算数の遠隔授業を行いました。これまで遠隔授業では他校の児童との交流や発表を中心に行ってきましたが、今回初めてまとまった単元を行いました。

本校の5・6年生はどちらも学年1人ということで、グループでの活動がどうしても少なくなってしまう。今回の遠隔授業では、その課題を解決し子供たちの学びを深める目的がありました。初めは教師も児童も慣れない授業体制にやや戸惑いもありましたが、臨機応変に対応しながら、話し合いや意見の交流を交えた学習ができました。「みんなの考えを気軽に見られた」「ほかの人の考えが分かった」と子供たちも実感していたようで、学習を深めることができたのではないかと感じます。子供たち同士での話し合いの仕方や音声の聞き取りづらさなど、まだ課題もありますが、子供たちの学びの深化を目指し、今後も改善を重ね行っていきたいと思えます。



「ありがとう」のよさを感じられる子に（特別支援学級）

特別支援教育の学習に、「日常生活の指導」と「生活単元学習」というものがあります。日常生活の指導はその名の通り、生活する上で必要なスキルを身に付けることを目的としています。また、生活単元学習は様々な教科の内容を組み合わせ、生活に必要な事柄を総合的に学習する内容になっており、本校では野菜作りや季節の製作、町内の特別支援学級との交流学習などを中心に行っています。

先日、風が大変強い日があり、校舎内が砂だらけになってしまいました。体育館も床が真っ白で、座るとお尻に砂がついてしまいました。2人は日常生活の指導の時間を使い、体育館の床拭きを頑張ってくれました。雑巾の絞り方や掃除の仕方など、2人で助け合いながら作業する姿は大変素晴らしいかったです。

また、生活単元学習では、母の日製作をしました。日頃の感謝の気持ちを込め、手作りのレジキーマーカーをお母さんへ作りました。丁寧にメッセージを書いたり、渡し方の練習をしたり、様々な活動を楽しみながら学習を進めました。一生懸命作ったプレゼントを2人とも早くお母さんに渡したいと嬉しそうでした。きっとお母さんたちも喜んでくださったのではないかと思います。

子供達には様々な学習活動を通し、自分がしたことによって周りの人達から感謝されることのよさを実感してほしいと強く思っています。「自分がしたことが周りの人を幸せにする」という経験が、将来の就労への喜びにつながると考えています。今後も相手意識をもった学習活動を行い、子供たちの成長につなげていきます。



春の遠足に行ってきました

6日（金）、晴天の下、さらんべ公園に遠足に行ってきました。学校から図書館までバスで移動し、図書館からさらんべ公園までの約2kmを歩いて行きました。

さらんべ公園では、子供たちが企画したしっぽりや長縄跳びをしたり、遊具で遊んだり、パークゴルフをしたりして、楽しい時間を過ごしました。中でも、子供たちが一番楽しみにしていたのはお弁当です。みんなおいしそうに最後まで残さず食べていました。やっぱり親の作ったご飯が一番ですね。

帰りのバスの車中では眠りに落ちる子もいて、みんな遠足を満喫したようでした。

